



日本骨髄バンクの現状 (2019年11月末現在)

	10月	11月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,731	3,904	528,161	815,251
患者登録者数	250	232	1,960	58,086
移植例数	123	117	—	23,868

■11月年代別ドナー登録者数(現在数)

10代	5,501人
20代	82,289人
30代	139,757人
40代	224,237人
50代	76,377人

■11月の20歳未満の登録者 448人

■11月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム/724人、献血併行型集団登録会/3,044人、集団登録会/72人、その他/64人

■11月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：843件

(注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 バンクニュースの「変更はがき」と「メールによる発行のお知らせ」を終了

■「変更はがき」を終了

これまでドナー登録者の方には、住所変更等の際に日本骨髄バンクニュース（以下、バンクニュース）同封の「変更はがき」をご利用いただいていたのですが、バンクニュース55号（12月4日発行）より、「変更はがき」の同封を終了しました。ペーパーレス化を進めることで、迅速で正確な登録情報の反映を図るとともに、コーディネート期間の短縮につなげてまいりたいと思います。

今後は、造血幹細胞移植情報サービスのウェブサイト、または全国の日本赤十字社ブロック血液センターへの電話連絡で、従来通り変更手続きを受け付けます。

■「メールによる発行のお知らせ」を終了

ドナー登録申込書で「骨髄バンクニュース発行のメールによるお知らせを希望する」と意思表示された方には、2016年よりメールにてバンクニュース発行のお知らせを行ってきました。

しかし、現在ホームページや公式 Twitter でも随時発行のお知らせを行っていることから、バンクニュース55号をもってメールによる発行のお知らせを終了します。

2 骨髄バンクチャリティーゴルフ大会

「第14回ぐるなび骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」が11月18日に戸塚カントリー倶楽部（神奈川県）で開催されました。女子プロゴルファー28名、ぐるなび提携レストランの関係者等多数が参加しました。株式会社ぐるなびや協賛社からの寄付金のほか、女子プロの賞金の一部、オークションの収益金等が、大会会長の滝久雄様より当法人の小寺良尚理事長に贈呈されました。参加者、関係者のみなさまに心より感謝申し上げます。ゴルフ大会の様子は以下の日程で放送予定です。

【放送日時】（スカパー、auひかり、ケーブルテレビ等のゴルフネットワークチャンネルでご覧いただけます）

12月24日（火）23時30分～24時

12月29日（日）22時30分～23時

1月6日（月）14時30分～15時

1月9日（木）19時～19時30分

1月18日（土）9時30分～10時30分

3 13年目を迎えた読売巨人軍の骨髄バンク支援

読売巨人軍のファン感謝イベント「ジャイアンツ・ファンフェスタ 2019」が11月23日に東京ドームで開催されました。読売巨人軍から日本骨髄バンクへの寄付金贈呈式が行われ、多くのファンの前で今村司球団社長から当法人の小寺良尚理事長に寄付金の目録が贈呈されました。

12月4日には、菅野智之^{すがのともゆき}、大城卓三^{おおしろたくみ}、中川皓太^{なかがわこうた}の3選手が東海大学医学部付属病院（神奈川県伊勢原市）を訪問し、院内学級のクリスマス会に参加しました。トーンチャイム演奏やプレゼント交換などを行い、病気と闘う子どもたちと、熱戦の試合を制した選手たちの心温まるクリスマス会となりました。

4 「ドナー休暇制度」導入、484企業・団体に

働きながらドナーになる方にとって提供しやすい環境作りのため、当法人では全国の企業・団体等に向けて「ドナー休暇制度」の導入を推進しています。導入を確認しているのは484企業・団体です（12月5日現在）。ホームページにドナー休暇制度の導入情報一覧を公開しています。

11月25日には、TBSラジオ「Action」に広報渉外部長が生出演し、パーソナリティーの宮藤官九郎さんとドナー休暇制度をテーマにトークセッションを行いました。

ご関心のある企業・団体へは、当法人の専門職員を派遣して導入に向けたご説明をします。これからも「ドナー休暇制度」の導入をいっそう推進してまいります。

◇HOME > 募金ご協力のお願い > 企業・団体による支援 > ドナー休暇制度導入企業

◇お問い合わせ先：広報渉外部・ドナー休暇制度導入担当 TEL 03-5280-8111

5 ドナー助成制度、新たに9つの市町村で導入確認

新たに9つの市町村で「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が導入されました。全国で614の自治体になります。

助成制度の内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。当法人ホームページにお問い合わせ一覧を掲載しています。

■新たに導入が確認された自治体

- ・あきる野市、八王子市、羽村市、日野市、日の出町（東京都）
- ・伊那市、松川村、南箕輪村（長野県）
- ・阿賀野市（新潟県）

6 非血縁者間骨髄採取施設の新規認定

下記の施設が新たに非血縁者間骨髄採取施設として認定されました。骨髄採取施設は193施設となりました。ホームページでもご覧いただけます。

○東京都立多摩総合医療センター

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 面談施設一覧



7 当法人の会議等開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください（非公開除く）。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	1月17日（金）18時～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

8 個人情報取り扱いに関する注意喚起

当法人を介した造血幹細胞移植にあたっては、日頃多くの個人情報が当法人と各医療機関との間で使用されております。昨年、当法人において個人情報誤送付等の事案が発生したことから業務手順の見直し等の対策を行ってまいりましたが、改めて情報管理の徹底についてご依頼申し上げます。各施設におかれましては、骨髄バンク事業の特殊性をご理解のうえ、ドナーと患者相互の情報の遮断について、なお一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

詳細は別紙またはホームページをご確認ください。

◇HOME > 医師の方へ > 医師宛通知文【患者主治医向け】

9 【安全情報（患者・ドナーいずれも海外）】

遠心分離中にバッグが破損し、骨髄液全量が使用不可となった事例

世界骨髄バンク機構（WMDA）より、骨髄バッグの破損事例が報告されました。過去にも同様事象について安全情報を発出していますので、改めてご認識いただきますよう情報提供します。詳細は安全情報（12月13日付）をご確認ください。ホームページでもご覧いただけます。

◇HOME > 医師の方へ > 医師宛通知文【患者主治医向け】

10 【安全情報】非血縁者間骨髄採取時の麻酔関連事例

非血縁者間骨髄採取術において、全身麻酔の維持をデスフルランとレミフェンタニルで行うところ、デスフルラン気化器の電源が入っていなかった事例が報告されました。再発防止の観点から通知します。詳細は別紙をご確認ください。

11 ドナー適格性判定基準の変更

ドナー適格性判定基準の以下の項目が変更となります。詳細は別紙をご確認ください。

- ・ 【臨床的な問題】服薬中について
- ・ 【DLIドナー適格性基準】血清クレアチニンについて

12 患者コーディネートに関する変更等について <患者主治医の方へ>

患者コーディネートに関して、医療委員会での審議を経て、造血幹細胞の運搬等や凍結申請の要件についての変更を行いましたので、ご確認ください。

■変更点

1. 「骨髄・末梢血幹細胞・ドナーリンパ球運搬時の留意点」文書の書式変更について

ドナーが最終同意面談で適格と判定されると移植施設に標記文書を FAX していますが、文書形式からチェックリスト形式に変更し、「骨髄液等運搬の手順および留意点(自施設運搬用/業者委託用)」としました。

◇HOME > 医師の方へ > 患者主治医の方へ > 骨髄液等運搬の手順および留意点

2. PBSC 運搬用保冷ボックスの貸出し廃止について

これまで、PBSC を 2 日目に運搬するための保冷ボックスの貸出しを行っていましたが、ボックス等資材の劣化状態の判断が困難であることから、今後の貸出しを廃止することになりました。ボックス購入を検討される場合には、取り扱い業者のご案内も可能ですのでお問い合わせください。

※現在使用中のボックス 2 台を譲渡します。ご希望の施設は移植調整部へ FAX(定型書式なし)でお申し込みください。

締め切りは 12 月 20 日(金)受理分まで。ご希望が多い場合は抽選とさせていただきます。

3. 「ドナーの末梢血 採血依頼書」を採取施設へ依頼する際の電話(メール)の併用について

採取日にドナーの末梢血 20ml の採血を依頼する場合は、標記依頼書を事前に採取施設に FAX することになっていますが、FAX が届いていない、依頼が伝わっていないなどの理由で、当日検体が入手できなかった事例が発生しています。ドナーの当日検体を希望される場合には、当該書面を FAX するとともに、必ず電話またはメールでもご依頼ください。

4. 凍結申請の要件について

当法人では凍結は原則禁止となっておりますが、病状変化等をやむを得ない場合は、医療委員会審査で承認されれば可能としています。しかし、今般、海外バンクより病状以外の理由による凍結申請が出され、改めて凍結の申請要件について審議を行いました。その結果、原則凍結は認めないという前提は変わりませんが、申請要件を以下の通りとし、審査で判断することになりました。

- ① 「病状、その他やむを得ない事情」により日程調整がつかなかった場合は申請可能とする。
- ② 患者理由で延期を希望したが延期調整がつかなかった場合に初めて申請が可能。ただし、貯血期限超過のため骨髄採取量が減ることを回避したい場合には、延期調整を試みず凍結申請することを可能とする。



13

2020年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設認定、ならびに日本造血細胞移植学会（JSHCT）移植診療科認定の年次調査について <認定施設の医師の方へ>

■採取認定施設の医師の方へ

2020年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の年次調査を例年通り実施します。

■JSHCT移植認定診療科の医師の方へ

2020年度JSHCT移植診療科認定の年次調査を実施します。認定期間が2020年3月末までの全診療科が対象となります。

採取施設認定、移植施設（診療科）認定の年次調査票は、12月中旬に同じ封筒で施設長宛に発送します。お忙しいところ恐縮ですが、期限内にご返送くださいますようお願いいたします。

◇提出期限：2020年1月10日（金）

14

2020年度調整医師再委嘱手続きについて <調整医師の方へ>

調整医師委嘱手続きは、2016年度から委嘱期間を1年とし、原則として自動更新となりました。一部の施設においては院内規定等により、来年度も委嘱更新手続きが必要となります。対象の調整医師の先生方へ、委嘱更新に関する書類を来年1月中旬以降にお送りしますので、施設長の承諾書をご返送くださいますようお願いいたします。

また、新たに調整医師として協力可能な先生をご紹介いただける場合は、ドナーコーディネータ部までご一報ください。申請書等はホームページからもダウンロードできます。

◇HOME > 医師の方へ > 調整医師・採取医師の方へ > 調整医師の募集に関して

15

連絡事項 <コーディネーターの方へ>

■インフルエンザ流行に関する対応について

本年もドナーコーディネータ部にインフルエンザ相談窓口を設置しました。別紙「インフルエンザの流行に関する対応について」をご確認ください。

■コーディネーターブラッシュアップ研修会について【再掲】

今年度のコーディネーターブラッシュアップ研修会を下記の日程で開催します。交通機関、宿泊施設、宿泊パック等の手配はお早めをお願いします。会場所在地・交通案内については、マンスリーJMDP 7月12日発行号に同封の第一報をご確認ください。研修プログラム等詳細は、1月以降にお知らせします。

【日程】2020年3月7日（土）～8日（日）

【開催地】CIVIL 研修センター日本橋（東京都中央区）

■年末年始の確認検査・再検査実施とSRL 予約について【再掲】

ドナーがすでにHLA(DNA)の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りますので、それに従って日程調整をお願いします。

<年末>

① 確認検査（検査項目：一般血液検査とHLA ビーズ法）⇒12月25日（水）採血分まで

② 確認検査（検査項目：一般血液検査のみ）・再検査 ⇒12月27日（金）採血分まで

<年始>

① 確認検査、再検査 ⇒ 1月6日（月）採血分から

<SRL の予約>

1月6日～10日に採血希望の場合は、12月25日（水）14：00 まで